



自分が自分でいられる職場を見つけた。
相手のありのままを受け入れる仕事だった。

「寮には本当に大勢の人がいて、最初は頭にくることも正直ありました。でも打ち解けるうち、相手の内面を見ることができなんだと思つようになつてから自分の中で仕事が見えてきた気がします。相手のありのままを受け入れることで、自分を信頼してくれ、お互いのためになる。これ、転職前に自分が求めていたことなんですよ。自分が自分でいられる場所って、周りの人も含めて幸せになれるところなんです」

番頭

高橋 直也 (34歳)

番頭歴4年

千葉県出身。21歳まで板前修業をする。その後、職を転々しながら音楽活動と両立できる仕事を探し、その中で同社に出会い転職。30歳で番頭となる。

(有)東菱興業

エリアは千葉県、東京都を中心とした建設現場。未経験からベテランまで、大勢いる作業員のスキルに合わせて多様な建設作業を請け負う。個室の寮は高速ネット回線が通る。

- ◆ 0120・247・788
- ◆ 千葉市若葉区若松町982-7
- ◆ <http://www.toryokogyo.jp>
- ◆ 設立2003年 ◆ 従業員数110名



力の源は 内面を見てくれる職場

作業員も含めて全員が個性を持った仲間。その受け入れる器は広く、ある格闘技団体の記念興行では高橋がプロミュージシャンとして依頼されラップを披露したこともある。

自

分が自分でいられる場所。どこにあるのか？

いつ見つかるのか？ 高橋は30歳でたどり着いた。「生活するために仕事は必要。でも自分の中では音楽活動も大切な時間だし、そのスタイルもかけがえのないもの。それが許される職場って本当に少なかった。ところが今の会社は、自分をそのまま受け入れてくれました。だから与えられた仕事に責任を持ち、果たすことできることで応えるんです」

管理する大勢の作業員は趣味も趣向も年齢もさまざま。仕事中の高橋は、コーナンロウにスタイリングした髪の毛を後に束ね、作業員が日々快適に過ごせる環境をつくり出す。

「寮には本当に大勢の人がいて、最初は頭にくることも正直ありました。でも打ち解けるうち、相手の内面を見ることができなんだと思つようになつてから自分の中で仕事が見えてきた気がします。相手のありのままを受け入れることで、自分を信頼してくれ、お互いのためになる。これ、転職前に自分が求めていたことなんですよ。自分が自分でいられる場所って、周りの人も含めて幸せになれるところなんです」